



令和5年  
7月

# 学校だより

NO.4 令和5年6月30日  
さいたま市立美園北小学校  
TEL 048(812)2277  
<https://misonokita-e.saitama-city.ed.jp/>

【考えよう・やってみよう】と動くように働きかける

校長 佐藤 利春

## お気に入りの席です

職員室の私のデスクです。窓際・一番端・出入口のすぐ隣、お気に入りの場所です。気に入っている理由①:校庭の様子を感じることができます。花壇で虫を探している様子・鉄棒にぶら下がっている様子・朝顔に水を上げている姿・体育授業での教師とのコラボレーション等。気になるとすぐに出て行って声をかけることができます。その子の“よさ”に気づき、深く取材をすることができるので、とってもしあわせです。理由②保護者・業者・外来者に気付くことができます。早退・遅刻の親子に声をかけることができるのはとても貴重です。忘れ物をお預かりする、ボランティアで来てくださった方へのお礼、受付を通る前の外来者へのあいさつ、宅配業者の方の荷物を受け取ること等、直接コンタクト・コミュニケーション・情報収集のチャンスが多いことは、私の仕事にとってとても大きなメリットです。理由③子どもたちが窓越しにコンタクトしてきます。寄ってきてじゃんけんをしたり、にっこり会釈をしたり、ルーティーンのように話して帰る子もいます。PCに向かっていても、右半身に子どもたちの働きかけを感じることでできるすばらしい立地です。

メールチェックや来客対応の場合を除き、校長室で過ごすことはあまりありませんが、入り口を開放し、窓も大きく外の気配を感じやすく、これもしあわせなロケーションです。

## 廊下をフラフラ

さらにしあわせな時間は、廊下を歩く時です。堂脇・小林両教頭とも一致している見解ですが、「廊下や教室から、子どもたちと教師がコラボしている様子を見る時間は、しあわせ」と感じています。皆様ご存じの通り、本校の廊下は140mストレート、幅も3m強とすばらしい廊下です。端にいても、反対側の様子がなんとなくわかります。1～3階とも、授業中に廊下をフラフラとしているのは私・両教頭ぐらいです。子どもたちは本当によく勉強・活動に集中しています。廊下のよさは、広く長いだけではありません。各教室の扉です。多くの面積が透明なガラスで構成されています。教室の中の様子がよくわかります。また、教室の中から私がフラフラしている様子もよく見えます。私が通ると目をこちらに寄せ、笑顔を送ってくれる子がとても多いです。笑顔で返すことにしています。授業中でないときは、「校長先生～！」と手を振ってくれたり、出てきて話しかけてくれたりする子もいます。授業中、教室に入るときは気を使います。子どもたちも、職員も反応し歓迎してくれるだけに、授業者が設計した内容・時間を崩さないようにしなければなりません。口に人差し指を当てると、子どもたちはちゃんとわかり、反応してくれます。私は授業を見ていると、どうしても子どもたちとかかわりたくなってしまいます。授業者に声をかけ、許しをもらう数分はしあわせな時間です。私が廊下を通りかかると、授業者の教員から声がかかり、無茶振りをされることも少なくありません。そんな時はさらに燃えます。すぐに子どもたちの様子を読み取り、授業者の望むゴールを見出し、ねらいに対応したうえで、子どもたちの心が動くような働きかけをすることにしています。まさに至福の時です。先日、6年生のクラスでこんな学習をしていました。「1日に8秒ずつ進む時計があります。この時計は何日で10分進みますか？」私が通りかかったときは、問題解決を終え、確認し、次は発展・練習問題に進むという場面でした。授業者にお願いすると、2分程度の時間をもらえました。地球の自転・公転に8秒進むことを絡めてその場で思いついた問題(全くのフィクション、科学的な根拠もなく数遊びとして作りました。)を子どもたちに提示しました。「宿題でもなんでもありません。取り組んでみたいと思う人はやって、いつでも私のところまで持ってきてください。勉強して理解したことを確実に身につけるために練習問題をするのが普通ですが、生活上のことに当てはめて、自分で楽しく考えてみるって方法もいいですよ。時々やってみよう。そんな風に楽しく考えながら学習する人が将来稼ぐ人・世の中に貢献する人・自分のよさを伸ばししあわせを実現する人になるんじゃないかなあ～っと、おじいさんは感じています。算数に限らず、自分の得意分野で挑戦してごらん。」その後、算数が好きという子たちが何人も解答をもってきました。

## 【教える】時、その効果は私一人分

子どもが【考えよう・やってみよう】と動くように働きかけることができれば、その効果は、対象者人数分以上のものがああります。子どもが、自ら動こうとするとき、「できた」「できなかった」に関わらず、成長を得ます。「失敗は成功のもと」が成り立つのも、【自ら動く】ことがあるからです。それら小さな積み重ねが重要です。本校職員はいつもこれらを意識して授業・学級経営・教育相談等の準備に力を注いでいます。私がフラフラして安易に時間をとってしまうことはできないですよ。

保護者・地域の皆様のご理解をいただきながら、日々、チーム総力で子どもたちの成長に関わっていること、本当にしあわせな仕事です。夏季休業日に向かいます。7月もどうぞよろしくお祈りします。